

開発段階から墜落を繰り返す欠陥機オスプレイに「いらない！」の声をあげよう！

日本の空に オスプレイ いらない！ 市民集会



土地規制法
いらない！

基地強靱化
いらない！

昨年末の「安保3文書」の改定、大幅に増額された軍事予算、強硬に進められる琉球弧の軍事要塞化…その一環として、陸自オスプレイ V-22 の正式の配備先として、佐賀空港の整備工事が急速に進められています。

私たちは、木更津基地に「暫定配備」されている陸自オスプレイが佐賀空港に移駐すればそれでよいとは考えません。危険な欠陥機オスプレイは世界のどこにもいらない、市民生活を圧迫しながらの安全保障などは絶対に「平和」ではない、この思いで、さらに広範な市民の力を結集して「オスプレイいらない！」の運動を進めていきます。

10月29日薬円台公園にお集まりください！

2023 SUNDAY

10.29

13:30 START

パレード 15:00 ~ 自由解散

船橋市 薬円台公園 ステージ広場



昨年は、コロナ禍にもかかわらず約400名の皆さまにご参加いただき「オスプレイいらない！」の声をあげました。

集会直前には、習志野駐屯地を訪れ、総理大臣、防衛大臣、外務大臣宛に「オスプレイ訓練中止、配備撤回」を求める要請書を提出。

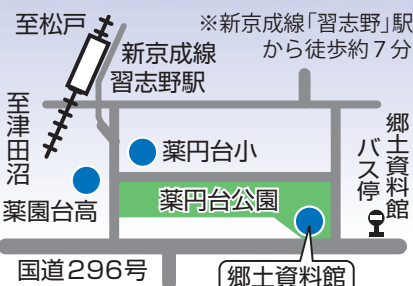


昨年の集会では、ステージで全国各地の活動などが紹介されました。

また、ほとんどの方がパレードにも参加されて、「オスプレイいらない！」の声をあげました！



皆さまのご参加をお待ちしております！



※JR「津田沼」駅からバス「高津団地行」または「北習志野行」で「郷土資料館前」下車徒歩2分

なぜダメなのか？
オスプレイ
土地規制法
基地強靱化

裏面をご覧ください！



主催
オスプレイいらない！
習志野・八千代・船橋ネットワーク

オスプレイいらない！
習志野・八千代・船橋ネットワーク

Twitterで
情報発信中！



●連絡先：090-2248-8142(金光)

●非暴力、平和的な集会です。主催者の許可なく物品を販売することや署名集めなどは禁止しています。●主催者以外の横断幕や幟旗等の掲出はお控えください。



オスプレイいらない! 市民集会 10.29

2023 SUNDAY

オスプレイはなぜダメなのか?

危険!

開発段階から墜落を繰り返し、今までに50名を超える犠牲者を出しています。重大な欠陥を抱える機体を購入する国は日本以外ありません。

騒音!

大きな騒音が指摘されており耳では聞こえない超重低音が窓のサッシや建物を振動させて心身にも影響を与えられています。

無駄!

約215億円もする機体を17機購入し私たちの税金が約3600億円も、しかもローターの風が強すぎて災害救助には使えないと言われています。



開発段階から墜落を繰り返すオスプレイは

欠陥を抱えたまま導入・運用されている

オスプレイによる死亡・墜落事故

死者 **50人**

年・月・日	内容 ※()内は死亡者数
1991. 6.11	試作機が離陸時に制御不能になり、墜落
1992. 7.20	着陸直前に右エンジンから出火、墜落(7人)
2000. 4. 8	着陸のため降下中、制御を失って墜落(19人)
2000.12.11	機器の不具合で操縦不能、墜落(4人)
2010. 4. 9	アフガニスタンで着陸失敗、横転(4人)
2011. 7. 7	アフガンで離陸中、後方ドアから落下(1人)
2012. 4.11	アフリカ・モロッコで離陸直前、墜落(2人)
2012. 6.13	編隊飛行中、乱気流に巻き込まれて墜落
2014. 5.19	訓練中に後方ドアが開いて兵士が落下(1人)
2014.10. 1	ペルシャ湾で強襲揚陸艦から発艦失敗(1人)
2015. 5.17	ハワイで訓練中に砂嵐で失速、墜落(2人)
2016.12.13	空中給油訓練中に接触、沖縄県名護市浅瀬墜落
2017. 8. 5	オーストラリア沖で着艦失敗、墜落(3人)
2017. 9.29	シリアでIS掃討作戦中に墜落
2022. 3.18	ノルウェー北部で訓練中に墜落(4人)
2022. 6. 8	米カリフォルニア州で訓練中に墜落(5人)

2010年米国防省がクラッチ欠陥を把握

2015年米国が日本へオスプレイを売りわたす

2016年米国が日本へ欠陥を伝えた

米国は、オスプレイに欠陥があることを知っていたが、知らせずに日本へ売りつけていたことが判明しています。

●クラッチを原因とする特有の現象: ハード・クラッチ・エンゲージメント(HCE) プロペラとそのエンジンをつなぐクラッチが離れ、再結合する際に衝撃が発生する現象。

米軍のやじたい放題

米国オスプレイは国内で危険な飛行が可能に!

防衛省は7月7日、在日米軍の輸送機オスプレイMV22が飛行訓練をする際の最低高度について、現行の約150メートルから約60メートルに下げることにより日米両政府が合意、沖縄県を除く日本国内の山岳地帯で危険な低空飛行が行われるのです。

オスプレイの佐賀空港配備はどうなるのか?

陸上自衛隊オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備が2025年7月に迫る中で佐賀空港への駐屯地建設が進められています。しかし安全、環境問題、米軍の利用など、地域の不安は解消されていません。

佐賀空港配備になっても習志野演習場で訓練する可能性があるのです!

今までの経緯

陸上自衛隊オスプレイは、尖閣諸島などの島嶼防衛のため、2018年に長崎県に新編された「水陸機動団」を迅速に輸送するために購入したものの配備先の佐賀空港が使えず、2020年になぜか千葉県の木更津駐屯地へ5年間暫定配備されることになりました。現時点で防衛省からは習志野演習場の上空を飛ぶ可能性があるかと回答しています。

土地規制法はなぜダメなのか?

基地や原発などの機能を阻害する行為に懲役を含む刑事罰をすのが「土地規制法」。しかし、「機能阻害」が具体的に何を指すのが法律には書かれていません。

この法律の大きな問題点は基地周辺約1キロメートル内の住民やその関係者のあらゆることを調査できる点です。

さらには基地周辺の土地の売買には事前の届け出が必要になることから、地価の下落を招くことも考えられます。

基地強硬化はなぜダメなのか?

これまでの日本は、攻められたら守る「専守防衛」の国でした。岸田内閣はこれを大きく転換し、日本から他国領土内への先制攻撃も行えると決め、そのための長距離ミサイルを配備しようとしています。

しかも日本が攻撃をしかければ、自衛隊基地が核兵器を含む報復攻撃にさらされると防衛省は想定し、司令部を地下に移したり、壁を厚くするなどの「強硬化計画」を進めようとしています。

しかし私たち住民を守ることは考えていません。「こんな岸田政権のすすめる大軍拡の犠牲になるのは嫌だ!」と、ご一緒に声をあげましょう。

私たちが暮らす街が自衛隊基地とともに焦土と化するのか?

土地規制法で自衛隊施設の周囲1kmは調査・規制の対象に、そして懲罰や罰金も!



市民集会で「いらない!」の声をあげよう!